

カリエスに関する お役立ちツールのご案内

GC友の会 会員専用ページでは、患者さん説明ツールやe-bookなど数多くご用意しています。タブレットで書き込みをしたり、印刷したりしてもご活用いただけます。

患者さん説明ツール

豊富なイラストや写真で患者さんにわかりやすい！

「デンタルなぜ? なに?」<検査・むし歯編>



◀カリエスの進行過程や進行度が写真で説明できる!



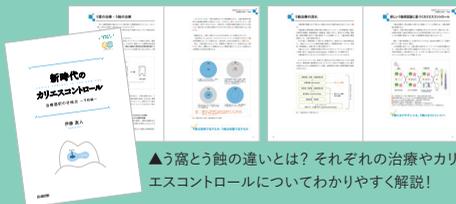
「めくってバラバラ」〜食生活指導編〜



▲食生活習慣とカリエスの関わりを質問形式で確認できるシートもご用意!

e-book

カリエスに関する情報やセルフケアのコツ、プロフェッショナルケアのスキルアップに!



▲う窩とう蝕の違いとは? それぞれの治療やカリエスコントロールについてわかりやすく解説!



そのほかにも役立つ情報がたくさん! ぜひご覧ください!

www.gcdental.co.jp

GC友の会

患者さんの
モチベーションアップに!

カリエス リスク 見える化 キット



GC



活用 ガイド

歯に影響をおよぼす!

「酸性」「アルカリ性」が色でわかる実験によりカリエスリスクがわかる

このキットに入っているもの



- 1 pH測定薬 (約3mL1本)
- 2 ビタミンC粉末 (約1g)
- 3 pH比色表 (1枚)
- 4 試験管立て (1個)
- 5 試験管 (5本)
- 6 小さじ (まぜ棒) (1本)
- 7 トリブラークIDジェル (2g:1本)

● 薬品の内容 ・pH測定薬 (約3mL) …メチルレッド、プロモチモールブルー、フェノールフタレイン
・ビタミンC粉末 (約1g) …L-アスコルビン酸

pH測定薬の使用期限は約3年です。開封後は暗い所で保管してください。

⚠️ キットを使う前に必ずお読みください。

●キットを使う前にガイドブックをよく読み、使い方と注意を必ず守ってください。●実験の前後は、石けんなどで手を十分に洗ってください。●電気製品の上に置かないでください。水がこぼれると火災や故障の原因になります。●実験は濡れてもいい、平坦なところで行ってください。
<薬品について> ●実験の目的以外に、薬品をなめたり、口に入れたりしないでください。また、薬品をさわった手で口や目にふれないでください。●薬品が服や机などに付くと色が落ちないことがあります。薬品をこぼさないようにご注意ください。●添付の薬品については文献や成分等より安全性を確認し、実験に必要な最低量を添付していますが、体質によっては過敏に反応する場合があります。少しでも異常を感じたらすぐに使用をやめ、速やかに専門医の診断を受けてください。●使用済みまたは余った薬品は、大量の水と一緒に排水溝に流してください。絶対にそのまま流さないでください。

●このキットの主な原材料名

試験管 (無色透明)、試験管立て (白)、まぜ棒 (黄緑): PS pH測定薬容器の本体: PE pH測定薬のキャップ・中栓: PP ※ 不用品になったときには各自自治体の決まりに従って処分してください。

How to use...?

このキットの使い方

なぜ、むし歯になるのかな？



なぜ？に答えるヒント集

- デンタルなぜ？なに？
- めくってバラバラ

→詳しくはP.8へ

どんなキット？

このキットは、カリエスリスクの高い患者さんに、歯質に影響をおよぼす「酸性度」を見える化し、リスクを『自分ごと』として伝えることができる体験キットです。

こんな患者さんに！

「歯みがきが定着しないお子様」や「ジュースやお菓子、お酒をよく口にする方」など、**ハイリスクなのに、なかなかモチベーションが上がらない患者さんの、「ここぞ」**という指導のおたすけツールとしてもおすすめです。



カリエスリスクの説明と指導の流れ

③ キット、友の会ツールの活用例

歯の「脱灰」の原因は…？

- 食事回数
- 食事内容
- セルフケア状況
- 唾液
- カリエス経験 など

酸



1

脱灰 > 再石灰化

う蝕が進行しつつある状態

2

キットで実感！



- 酸の影響を知ろう！
- 口腔内を調べよう！

患者さんの理解度・モチベーションアップ！



キットの実験も説明も4Stepで

ケアに役立つ予防製品

- セルフケア説明シート
- 予防製品

→詳しくはP.6~7へ

このままどうなるかな？



3

う窩になると元に戻らないことを患者さんに伝える

どうすれば歯を守ることができるかな？



4

歯を守るには

脱灰 < 再石灰化

「再石灰化」を促進させる

次のページでは、キットを使った実験の方法を説明します！

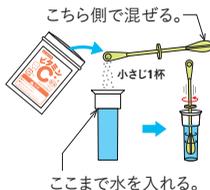
付属のキットを使った 実験の方法

⚠ 薬品が服などに付くと色が落ちないことがあります。ご注意ください。

「pH測定薬」で水溶液・身近な飲み物の酸性度を調べてみましょう

Step.1

ビタミンCの水溶液は酸性を示します。まずは、付属のビタミンCのpH値を調べてみましょう。試験管にビタミンCを小さじ1杯入れ、水でよく溶かします。



Step.2

pH測定薬を1滴入れ、よくかき混ぜてください。



Step.3

10秒後、水の色をpH比色表と見比べます。ビタミンCはpH4~5を示します。



※pH比色表は目安ですので、近い色で判断してください。

Step.4

食品を含む身近な液体のpH値も調べてみましょう。エナメル質の臨界pHを超えるものはあるのでしょうか。調べたい液体を試験管に入れ、Step.2と同じようにpH測定薬を入れて調べます。

※色の濃い液体など、調べにくいものもあります。また、色が薄くてわかりにくいときは、pH測定薬をもう1滴入れてください。



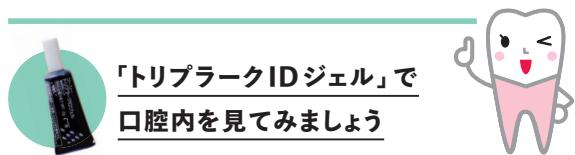
身近な液体のpH値の例

エナメル質の臨界pH

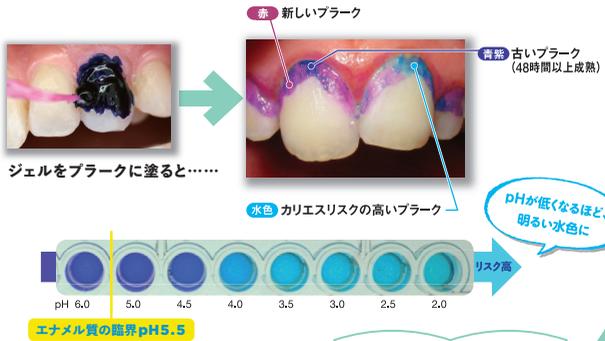
※商品によってpH値は異なります。



上記のとおり、レモンや食酢のようなすっぱいものだけでなく、市販の甘い飲料にもエナメル質の臨界pHを超える酸性度のものがあることがわかります。



「トリプラークIDジェル」は、カリエスリスクを見える化する歯垢染色ジェルです。プラーク中のpH値が低くなるほど、明るい水色になります。気になる歯面を染色して確認してみましょう。



トリプラークIDジェルの使用法は、同封の説明書をご覧ください。

患者さんに伝えたい！

酸のリスクとは？

飲み物の酸性度や口腔内のプラークの酸性度について、実験によって可視化されたら、患者さんにその酸が口腔内に停滞し、カリエスが発生するリスクを理解してもらい、「歯を守る」意識を持ってもらいましょう。

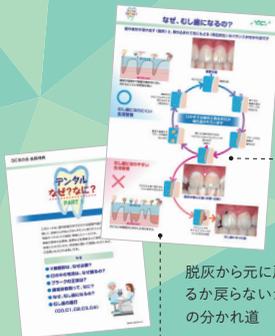
酸

なぜ酸は歯に良くないか



酸によって歯の成分であるカルシウムやリンといったミネラルが溶けだす「脱灰」を患者さんに知ってほしい！
→ツールで「脱灰と再石灰化」のサイクルを伝えましょう！

患者さんへの説明には、「デンタルなぜ？なに？」<検査・むし歯編>が活躍します！
脱灰と再石灰化のサイクルが、わかりやすく図示されています！



脱灰から元に戻るか戻らないかの分かれ道

飲食頻度との関連も説明

「デンタルなぜ？なに？」
<検査・むし歯編>



ツールはこちら！

ツールで患者さんの理解度アップ！

酸を放置するとどうなるか



「脱灰」がさらに進むと「う窩」になる！
「う窩」になったら元に戻らないことを知ってほしい！

→だから酸を歯面に停滞させないことが大切！

患者さん自身が

歯を守るために

どこを見て何をするか、具体的に何が必要かを患者さんに伝えましょう。

プラークコントロール

プラークの付着が多い患者さん、
ベタベタとした粘着性のプラークの患者さんには…

★pH4.0以下で水色に染まるトリプラークIDジェルでリスクを可視化！



▲トリプラークIDジェル

★患者さんに合った歯ブラシを処方！



▲ルシェロ歯ブラシ
B-10、B-20、B-30

ベタベタプラークには
Bシリーズがおすすめ



活用のヒント！

さらにカリエスリスクの高い患者さんをサポート

★フッ化物やその他予防製品を応用！



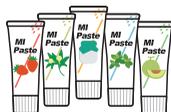
◀おとなのトータルケア
歯みがきジェル



◀フッ化ナトリウム
洗口液 0.1%
「ジーシー」250mL
医薬品承認番号
22400AMX00015000
発売元：株式会社ジーシー
製造販売元：
東洋製薬化成株式会社



★酸性状態に傾いた口腔内環境の中和作用と緩衝作用



▲MIペースト

患者さんの日々の食事について聞き取りをし、改善点があるかどうか一緒に考えてみましょう。

食生活の見直し

食事のリズムが乱れがち
患者さんには…



★きっかけになるアンケート風ツール

「めくってバラバラ」
～食生活指導編～



ツールはこちら！